

## 「阪神地域の水供給の最適化研究会」について

H28. 9. 27 阪神水道企業団

阪神水道企業団と構成市（神戸市、尼崎市、西宮市及び芦屋市）の間において、平成28年3月に協定書を締結し、「阪神地域の水供給の最適化研究会」を設置して、研究を進めている。

### 【目的】

水需要の減少に伴う構成市の給水収益の減少並びに各事業体（企業団と構成市）における施設の更新需要の増大及び災害リスク等に対する新たな投資等の諸課題に対応するため、各事業体を一体として捉え、効果的かつ効率的な事業のあり方について研究する。

「阪神地域の水供給の全体最適」を目指し、各事業体間で忌憚なく意見を交換し議論出来る場とする。

### 【研究内容】

- ① 水供給システムの最適化（地域内水道施設の最適配置とその運用）  
⇒ 通常時に加え、リスク対策を考慮した効率的かつ効果的な施設整備と運用に関する研究
- ② 水質検査の共同化  
⇒ 現在実施している水質検査の共同化の更なる発展と効率化に関する研究
- ③ 上記研究内容の実現方策  
⇒ ①及び②の研究成果の実現方策に関する研究（具体化に向けた研究）

### 【研究体制】

研究会は、各事業体の課長級以下の職員で構成し、ワーキンググループ（係長級）を設置して研究を行っている。

### 【研究スケジュール】

平成28年度から平成29年度までの2か年で研究を行い、平成28年度末には「中間とりまとめ」を行う予定である。

なお、平成30年度以降も、テーマを設定して研究を継続する。